

玉村町教育委員会点検・評価報告書【概要版】令和6年度対象

＜学校教育の目指す子供像＞
自ら考え判断し、自ら行動できる子供
～夢や希望を育む学校教育の推進～

子供が主役の学びの支援

＜「わくわく感」を大切にしたい総合的な学習の時間＞

子供が「わくわく感」をもち、相手意識や目的意識を明確にしながらかつ活動を行うことができる授業づくりを進めています。子供が自分たちの学校生活の課題、福祉に関わる課題、自分の生き方に関する課題等を見出して、方法を試行錯誤しながら解決に向けた取組を行っています。大人の想定を超える子供の姿も見られ、学びを通して子供がたくましく成長していることが感じられます。



＜ICT活用が日常的になった子供の学び＞

授業の中でデジタル教科書や学習アプリの活用が日常的になってきています。教師が子供に分かりやすく資料を示して伝えたり、子供が自分で考えや振り返りをデジタルで入力して、1時間1時間の学びをつなげたりしています。また、デジタルホワイトボードで図を操作しながら協働で考えを深める様子も見られます。



グローバル人材の育成

＜5年ぶりのエレンズバーグ海外派遣＞

コロナ禍により中断されていたアメリカ、エレンズバーグへの海外派遣が再開し、両中学校の2、3年生20名が参加しました。「feel tell appeal」のスローガンのもと、現地の方と多くのことを感じ合い、伝え合う貴重な時間を過ごすことができました。帰国後には様々な場でこれらの経験を得られた思いを発信しました。



＜玉村町の未来を考える子ども議会の実施＞

各小中学校代表者2名ずつと、玉村高校代表者1名の計13名の子ども議員が、学校の代表として玉村町の課題について各課長に質問を行いました。町をよりよくするためにどうすればいいか真剣に考え、質問や提案をしました。玉村町の未来を担う子供たちを育てるよい機会となりました。



教育環境の充実・整備

＜栄養教諭や地域人材を活用した食育の推進＞

給食センターの見学では、調理場内と見学場所を中継し、普段見ることができない給食作りの様子がより近くで見ることができるようになりました。給食フェアでは給食が作られている様子を動画で見てもらい、給食に対する理解をより深めることができました。



＜安全で快適な学校環境の実現＞

芝根小学校のトイレの洋式化、ユニバーサルトイレの新設。また、両中学校の体育館・武道場等の体育施設に空調設備を整備しました。児童生徒及び先生方がより安全で快適な学校生活を送ることができます。

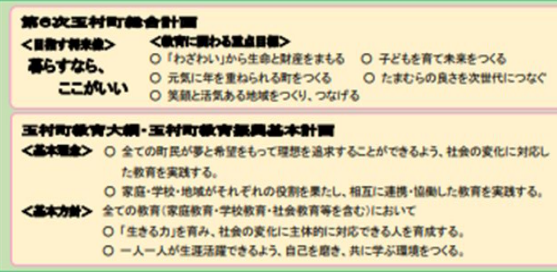
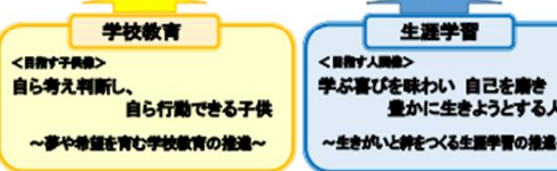


＜令和6年度 教育行政方針＞

夢叶える教育のまち たまむら

令和6年度 玉村町の教育 玉村町教育委員会

教育の本質を見極め、未来を見据えた改革



＜1年間の点検・評価の流れ＞

1学期

- ・年度始学校園訪問
- ・社会教育委員会、企画展

2学期

- ・教職員研修会、計画訪問
- ・特別展

3学期

- ・年度末学校園訪問、ミニ企画展
- ・自己評価、外部評価、令和7年度教育行政方針策定



＜生涯教育の目指す人間像＞

学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに生きようとする人
～生きがいと絆をつくる生涯学習の推進～

生涯学習の推進

＜多様性を認め合う、人権啓発映画上映会＞

人権教育啓発事業では映画上映会という形で山梨県にある障がい者施設の利用者の日常をとらえたドキュメンタリー映画「フジヤマコトントン」の上映を行いました。障がいの有無にかかわらず、人と人が繋がっている日常の風景に、温かい気持ちになりました。

上映後に行った青柳監督のアフタートークでは制作の裏側や監督と施設利用者である出演者との関係などを聞くことができました。



公民館講座の充実

＜めくもり自主講座「カリンバ体験講座」の実施とサークル化＞

オルゴールのような音色の「カリンバ体験講座」を実施しました。カリンバの弾き方から、専用の楽譜を見て簡単な曲を弾いてみるまで体験しました。また、参加者の中から今後もカリンバを続けたい方を募集し、自主サークル「おてがるカリンバクラブ」を立ち上げ、文化センターで活動ができるようになりました。



文化財・地域資源活用の推進

＜ミニ企画展「昔の道具展」＞

今年度は15回目を記念し、重田家住宅をサテライト会場とし、より昔の暮らしを感じることのできる展示を行い、竹馬などの昔の遊び体験や石臼を挽いてすいとん作りなどの昔のくらし体験などの関連行事も実施しました。

毎年自作印刷のパンフレットは、これまでのパンフレットの集大成となるような分かりやすい作画も織り込んだ充実の内容で継続的に配布可能なものとなりました。



図書館に親しむ機会の提供

＜夏の英語絵本読み聞かせ＞

県立女子大学学生が英語絵本の読み聞かせを行いました。読み聞かせの学生は、口元を上げ表現豊かに英語を発音し、リズムよく読み聞かせを行ったことから、参加した乳幼児・小学生も楽しく聞いていました。

多くの人が親しみを持って、気楽に参加できるイベントとして、多くの乳幼児・小学生・保護者が参加し、読み聞かせを行った学生たちも楽しかった！と言っていました。



生涯スポーツの推進

＜玉村町民スポーツフェスティバル＞

令和6年10月13日（日）に、玉村町スポーツフェスティバルが開催されました。幅広い年齢層の多くの人々が楽しく参加できるように、スナッグゴルフ・モルック・ボルダリング等のニュースポーツコーナーを設けて、実際に体験していただきました。また、協賛企業ブースやキッチンカーも出店され、地域の方々を中心とした来場者が途切れることなく訪れて、イベントは大盛況でした。

